

◆ 平成30年度 活動報告シート ◆

団体名：荒川太郎右衛門地区自然再生協議会

21A-35

代表者：イベント実行委員長 川島秀男

URL : <https://sites.google.com/site/tarouemonarakawa/>

1. 活動が必要とされた状況

荒川太郎右衛門自然再生地は、都市部近郊で豊かな自然環境が残されており、地域固有の生物多様性の確保や自然と共生する社会の実現への貢献が期待される地域である。

チラシや散策マップの配布・イベントの実施によって荒川太郎右衛門地区自然再生事業及び協議会活動の内容を広く一般に知っていただくと同時に、活動の一部を体験してもらうことで、自然再生や環境保全の意義について知っていただくことを目的として活動を行った。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

■チラシの配布

実施時期：平成30年9月 配布先：近隣の小中学校・高校、JR桶川駅、公共施設等

活動内容：自然再生地とそこでの活動について広く一般に知っていただくことを目的として、自然再生地についての紹介とイベントの広報のためのチラシを配布した。

■イベント・散策マップの配布

実施時期：平成30年10月13日 参加人数：70名

活動内容：一般市民の方に、自然再生の活動を体験してもらうとともに、荒川太郎右衛門自然再生地を訪れていただくきっかけを作ることを目的に、昆虫採集と外来種の除草・樹木人気投票を市民の方に体験していただいた。除草は、抜いた草をリヤカーで運搬し、効率的に実施できた。また、イベント後も自然再生地に足を運んでいただけるように、散策マップを制作・配布した。

3. 活動の成果

チラシは作成した29,000枚のほぼ全量を配布し、多くの方に荒川太郎右衛門自然再生地について知っていただけたと考えられる。

イベントには、70名の方に参加していただいた。参加者へのアンケートの結果、多くの方が「今後も自然再生・保全の活動に参加したい」と回答し（96%：26票中25票が回答）、今後の持続的な自然再生の活動に繋がる結果となった。



除草の実施状況



樹木人気投票の実施状況



昆虫採集の実施状況

4. 今後に残された課題

チラシによるイベント広報の結果、締切りより3週間早く本イベントの参加者は定員に達した。一方で、普段開催している写真撮影等のイベントは集客が悪い。今後、本イベントと連携した広報を実施していくことが考えられる。